9.24大衆団交勝利

日吉団は、我々の要求に対する回答を一片の紙切れでもって済ませ、いみじくも彼らがいっているように「かならずしも意をつくしがたく」回答のすりかえを行っている。たとえば我々の反動教授追放に対して、「学部の人事については、学部固有の権利を犯さないようにするために学部の論議に委せる」と答えた。全ての学友諸君！学生でも人事の論議は学部で行っていたではないか。たとえば小野教授の辞表は学部で論議し、受理されたものが、本部の意向に[illegible]ていただけではないか。彼らがいくら口先で言ったとしても学生はもはやだまされはしない。

もし当局が我々の要求に本気で答えようとするなら全共斗の旗の下に結集する[illegible]して[illegible]すべきである。それに対し[illegible]するであろう。[illegible]は日吉団長[illegible]の理論斗争の場として存在[illegible]ないのは、彼らが我々を説得するだけの[illegible]については学校当局から大衆団交を[illegible]回答があったにかかわらず[illegible]の回答書で欺瞞性を暴露し[illegible]学友の前で論議し、彼らに自己批判[illegible]に対する裁判拒否 われわれ大[illegible]この状況を許さずして、新し[illegible]学友諸君、彼らはまさに学生弾圧の方[illegible]して弾圧されるや裁判を[illegible]た最高事件であるところの五大[illegible]大衆団交の場で奪いとるまでストラ[illegible]

[illegible]!!